

Cotton こっとな Up あっぷ

Vol. 95

K
A
S



わたげの一員としての役割を担うため、
月 2 回、昼食で食べるお米を買いに
行っています！
2 階の厨房までトータル 30kg の
お米を届けます！！

目 次

- ・「W・D・S・N 18 (Watage Daily Support News)」
～タコを釣るルアーの仕事、やってます！！ 編
～昼食配膳担当紹介 編 《2～5 ページ》
- ・たんぼぼの会後援会会長 新任挨拶 《5 ページ》
- ・新任職員紹介 《6 ページ》
- ・ものもらっくまるちとらっく 《6 ページ》
- ・後援会のご案内 《7 ページ》
- ・ボランティアさん☆大募集中！！ 《7 ページ》
- ・編集後記（編集部） 《7 ページ》

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会

代表 内田 照雄 〒243-0035 厚木市愛甲910-1コープ野村6-109

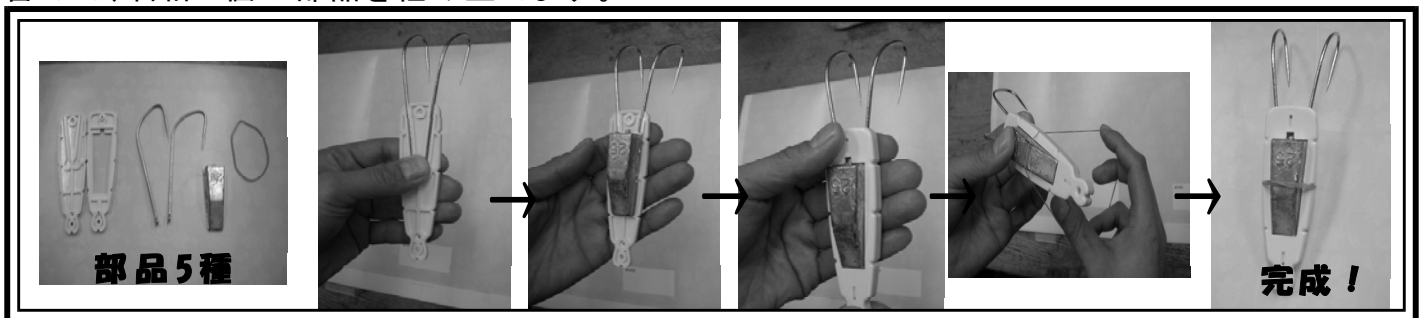
(毎月1回15日発行) 購読料1部 50円

〈タコを釣るルアーの仕事、やってます！！〉

和地まどか

「わたげ」「わたげ分場」のある三浦半島では、三浦海岸を始め、多くの海岸があることから、海のレジャーが盛んです。海のレジャーといえば…海水浴もいいですが、そう、「釣り」がありますね！暖かい時期になると、海岸のあちらこちらに、釣り人が魚を追いかける姿が見られます。魚を釣るためには、エサが欠かせません。釣りをされる方は詳しいかと思いますが、エサにも様々な形状があり、その中の1つに疑似餌(ルアー)があります。これまでも、ケーブル解体やお菓子製品のタグ取り付けなど、多くの仕事内容を紹介してきましたが、今回は、横須賀・三浦地域ならではの「ルアーの組み立て作業」の様子を紹介させていただきます。

主に受注している釣り具は、タコを釣るためのルアーです。タコを釣り上げるための2本の針を含めて、合計5個の部品を組み立てます。



【作業工程】

- ①片方のプラスチック部品に2本の針をのせる
- ②その上にオモリをのせる
- ③もう片方のプラスチック部品をかぶせる
- ④輪ゴムをかけて固定する→完成！

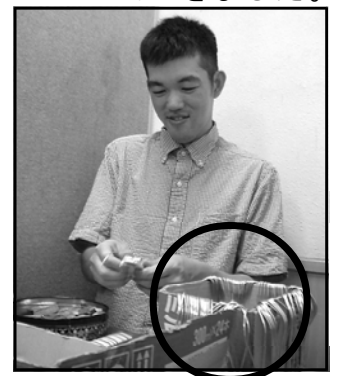
導入当初は、写真の手順書や見本の提示などで工程を伝え、部品を置いていく台を用意していました。しかし、手順はすぐに理解し、部品を置く台も必要がなくなっていました。台がなくても、片方の手で押さえながら組み立てるなどのコツを掴み、利用者みなさんのスキルは徐々に上がっていました。

ここからは、工程毎にお伝えしていきます。

① 部品となる針の長さは約10cm、曲がっている針の先端部分は約3cmあります。針を服や肌に誤って引っかけて、思わぬことに繋がらないか、尖った針先を見て、作業が止まってしまうのではないかと心配ばかりしたのは職員のみ。利用者みなさんは、危険なことと分かれば、慎重に行動し、あえて危険なことはしません。適切に針を扱い、作業に取り組んでいます。また、受注先からは、約500本の針が1つの箱に入れられた状態で到着します。いくつもの針がお互いに絡まった状態で入っており、それを



組み立てる度に1つずつほどこしながら作業をすると、針をほどこすことに時間が割かれ、作業効率が低くなってしまいます。予め、箱から針を1本ずつ取りだし、別の箱の縁に針を引っかける工程を作りました。組み立てる利用者とは別の方が担当し、箱の縁に引っかけた針が、部品を組み立てる方の材料となります。針が縁に引っかけてあることで、安全で、さらに取りやすくなり、次々にルアーを組み立てることができます。



箱の縁に、針を
ひっかけてあります



② 錘（おもり）は部品の大きさにもよりますが、25～50グラムの錘を乗せます。針と同様、受注時は、1つの箱に無数の錘が入っているため、箱から取り出す担当に分担して行います。「別の箱に適当数に入れる」では、作業の終わりが分かりにくいため、製氷皿を使っています。製氷皿の1マスにつき1つの錘を入れます。全てのマスに錘を入れたら、作業が「おわり」となります。製氷皿に入った錘を使って、別の方がルアーを組み立てます。

③ 針と錘を乗せた後、もう片方の部品を合わせます。両方のプラスチック部品を合わせると、カチッと音がなり、部品がはまった感触が手から伝わります。「カチッとほまる」ことは、利用者みなさんにとっても、出来上がったことが分かりやすく、また、気持ち

ちが良いものです。

④ カチッとほまった状態でも、外れてしまうことを防ぐため、最後に輪ゴムで留めます。部品の所定の位置に輪ゴムを二重三重と巻くことは、反転しながら巻くため、すぐに出来る人もいれば、ちょっと難しいかなという人もいます。ましては、部品の尖った針に気をつけながら行う必要があります。普段、輪ゴムを巻くことは出来るけど、針があると怖くなってしまおうという方がいました。紙状の筒を用意し、まず筒に輪ゴムを巻きます。その筒の中に、針先とは反対側からルアーを入れ、輪ゴムをスライドすることで、所定の位置に輪ゴムを巻けるようになりました。また、予め輪ゴムを巻いた筒を提供し、同様にスライドする方法を行うことで、輪ゴムを巻くことが苦手な方でも、作業が出来るようになっていきます。輪ゴムを巻く工程で完成となり、納品となります。



現在、ケーブル解体の作業を中心に行っていますが、季節に応じて、今回のルアーの組



み立てや、お菓子製品のタグ取り付けなどの受注があります。長年、同じ作業を繰り返すことは、熟練した職人のように技術は上がりますが、時にマンネリ化してしまうこともあります。新しい仕事を受注した時、新しい道具や材料を手にとって確認している様子が見られ、興味や関心を示していることが、利用者みなさんの表情からも分かります。目先が変わることで、改めて新鮮な気持ちで作業に取り組むことが出来ていると思います。



利用者のみなさんの興味や関心、初めてのことで果敢に挑戦しようとする熱意、一人で完成できた時の達成感、様々な気持ちを大切に、これからも支援をしていきたいと思っています。

<昼食配膳担当ご紹介>

山中恵子

わたげの昼食は、給食を提供しています。11時を過ぎると、おいしそうな匂いが作業室に漂ってきます。その時間になると作業のペースがググッと上がってくる人も。今回は、昼食の配膳を担当している、對比地さんの取り組みをご紹介します。昼食の配膳は、①手洗いをして白衣、手袋、マスクを着用する②トレーに箸、コップ、ご飯茶碗の3つを並べる③トレーを配膳棚に並べる、という3つの工程があります。まず①の工程では、衛生面

に配慮し、白衣と手袋、マスクの着用が必要です。

白衣と手袋の着用は、難なくクリアすることができましたが、マスクの着用が最初の課題となりました。マスクを着用しても、すぐに外してしまいます。そこで、マスクを付けたまま配膳して欲しい、と伝えるため、白衣、手袋、そしてマスクを付けたモデルの写真を見てもらいました。しかし結果は変わりませんでした。次に、マスクをいつ外すのかを伝えてみよう、と考えました。マスクを付ける→配膳をする→配膳完成→マスクを外す、という流れについて、その場面の写真を上から並べて伝えました。すると、配膳が完成するまで、1回も外さず、マスクを付けて取り組むことができたのです。配膳が完成した時に、ご自分から外していました。それ以降、確実にマスクを着用しています。「マスクが苦手だから難しいのではないかと考えてしまいましたが、いつまで付けるのか（いつ外すのか）、見通しが立つことで、着用できるようになったのです。



次に、②の工程です。トレイ1枚に、箸1膳、コップ、ご飯茶碗を、それぞれ1つずつ置いていきます。それぞれ、トレイに並べて欲しい位置が決まっています。そこで、重ねて積んであるトレイの右横のスペースに、食器の実物大写真を並べることで位置を伝えました。それぞれの右にある写真の横（トレイ上）に、同じ食器を置いていきます。写真を目印に、適切な場所に食器を置くことができるようになりました。2週間後に写真を外しましたが、しっかり置く場所が定着しており、確実に並べることができていました。

最後に③の工程です。わたげの給食は、配膳棚に並んでいるトレイを、各自でテーブルに持って行くスタイルです。配膳棚は、それぞれ利用者の方の場所が決まっています。欠席する人がいたり、浴場清掃でお弁当を持参する人がいたり、給食を食べる人数が、その日によって違います。そのため、その日毎に、配膳棚のどこにトレイを並べて欲しいか伝える必要がありました。その手がかりとして使用したのがネームプレートです。トレイを置いて欲しいところに、職員がネームプレートを並べておきます。1人分のトレイを作った後、配膳棚のネームプレートが置いてある所にトレイを持っていき、そのネームプレートをトレイに載せて、1人分完成となります。ネームプレートをトレイに載せて完成、という手順にしたことで、ネームプレートがない所は、トレイを置かない、ということが伝わりました。25名分程のトレイを作り、配膳棚に並べていくのですが、並べる順番で発見がありました。特にトレイをどこから置いていくか、順番を指定せずに、對比地さんのやり方で取り組んでもらったところ、1回目は、完成したトレイを、配膳棚にランダムに並べている様子で、右の一番上の段に載せた次に、左の中央の段、というように、並べ方に規則性はありませんでした。後半は、まだ載せていない棚を見つけるのに時間がかかり、職員が指差しで伝える必要がある場面もありました。職員が順番を決めて伝えた方がよいのだろうか、とも考えましたが、慣れてくれば、置いていない棚を見付けるのも早くなってくるのでは、と考え、2回目も特に順番など何も伝えずに様子を見てみることにしました。すると、右棚の下段から初め、次は2段目、3段目、と順番に上がっていき、右の棚が終わると隣の棚へ、



というように、一定の規則性を持って、確実に並べていました。それからは、置き忘れてしまう棚はなくなり、確実に並べることができるようになりました。ご本人が効率的にできるやり方をご自分で作り出したのです。1回で判断せず、ご本人が考えて工夫をする時間を作ることも、支援の1つなのだ、ということに気付かされました。



ー 昨年の2月から役割活動として取り組みを始め、現在では厨房職員の一員のように活躍しています。今年度は、これまで取り組んできた基本の配膳（箸、コップ、ご飯茶碗）に加え、カレーライスの日（ご飯茶碗はなく、スプーンが加わる）など、基本とは違う配膳にも取り組んでいます。また、専用の箸を使っている人や、小皿を使用している人など、個別のニーズに合わせ、食器を入れ替える、複雑な工程にも挑戦しています。工程は複雑になりましたが、写真カードや色カードを使い、視覚的に分かりやすく、どのトレーに何を加えるか等を伝えることで、ご自分で判断して取り組むことができます。對比地さん、これからもよろしくお願いします！

たんぼぼの会新後援会会長の挨拶

2011年4月より、たんぼぼの会后援会長に新しく丸山明彦さんが就任致しましたので、御挨拶させていただきます。

この度「たんぼぼの郷後援会」にご縁をいただくことができました。微力ですが、少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願い申し上げます。地域、特に高坂、吉井、両町内会の皆様には、暖かく受け入れていただいていることに改めて感謝を申し上げます。

2月には、横須賀市療育相談センター所長の広瀬宏之先生が、来所いただいたことを知り、嬉しく思いました。

広瀬先生は、東京大学大学院卒業後、国立成育医療センター、米国フィラデルフィア小児病院を経て、平成20年に横須賀市に「あの広瀬先生が、どうして横須賀に」と全国から羨望されてお迎えできた発達障害では第一人者の小児科医なのです。

「家庭、地域、幼稚園、保育園、学校など、社会全体で子供たちを支えていく必要があります。センターでは、その支援の一部として、子供たちとご家族へのサポートを行っています。しかし、センターだけですべてが完結するのではなく、子供たちを取り巻く全ての人々が、彼ら彼女たちの特徴を理解し、それに見合った関わり方を工夫していってもらえるように、お手伝いをしたい」というご姿勢で臨まれています。

こうした素晴らしい出会いを、これからも積極的に進めていくお手伝いが出来れば幸いです。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

丸山 明彦

◎ 新任紹介 ◎



6月1日から、わたげで働かせて頂いております細谷岳夫（ほそや たけお）と申します。自閉症の方々に関わらせて頂くのは実習以来 となりますので、正直な所まだまだ至らぬ点が多々あるひょっこで す。そんな未熟者ながら、皆さんと同じ方向を向き、同じ景色を共 感できたらいいな、と漠然ながらも考えております。どうぞ、温か い目で見守って下さると幸いです。

さて、折角ですので少し私の事をお話しさせて頂きたいと思ひます。 私は今まで精神科病院や特別養護老人ホームで勤務していました。 とりわけ、いわゆる高齢者福祉と呼ばれる業界での実績が多く、支 援相談員や介護士として従事してきた次第です。もし、なにかご相 談等ございましたら市役所の前には是非細谷までお気軽にどうぞ（笑）微力ながら、喜んでお 力添えさせて頂きます！そんな私ですが、今後精進して参りますので、皆さまどうぞよろし くお願い致します。

たんぽぽ・ヨコスカ

ものどらつくまるちどらつく

No.47

このコーナーでは「横須賀たんぽぽの郷」最新ニュースをお伝えします！

篁一誠先生 ケース会議について

4月15日、6月17日、篁一誠先生(PDDサポートセンターグリーンフォーレスト)にわたげに来て頂き、ケース会議を行いました。

職員一人ひとりの質問に答えて頂く他、「自閉症への対応」というテーマで、自閉症の方に関わる時の配慮点や工夫について、多くの事例と絡めて講義をしていただきました。その中で、自閉症の方は、新しいことが苦手なのではない。丁寧な予告や伝え方の工夫をし、次に何がどうなるのか見通しを持てることで、安心して新しいことや変化を受け入れることの出来る人たちですというお話がありました。そして、例えば外出の予定をお伝えした後のことについて、自閉症の方が「〇〇」と行き先を言った時、今日行きたい又は行くの？と聞いていると受け取り、「〇〇は今日は行かないよ」と答えるケースが多い。その結果、「行かない」という言葉だけが耳に入り、不安や混乱を招くことに繋がってしまうというお話がありました。

行き先だけでなく、自閉症の方が口にした1つの言葉を、周囲が勝手に解釈して話を進めてしまうことって気付かないうちにしているのでは…。1つの言葉に秘められた気持ちは？背景は？と、ご家族や他職員と確認しながら、何より利用者の方の表情や様子を確認しながら、今まで以上に丁寧な関わりをしていきたいと感じました。

社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷 設立15周年記念講演会について

1996年11月に当法人が設立され、今年の11月で15周年を迎えます。

これまで、関係する多くの方に支えられながら、事業を展開して参りましたが、この15年という区切りを迎えるに当たり、自閉症を伴う方を中心とした支援に取り組んできた、法人のこれまでの歩みを振り返ると共に、これから未来に向けたお話を、実践報告を中心に記念講演会として行わせていただく予定です。時期は、11月13日(日)を予定しておりますので、是非、大勢の方にお越しいただければと思います。詳細については、後日お知らせ致します。

資金収支計算書

(自)平成22年 4月 1日 (至)平成23年 3月31日

勘定科目	予算	決算	差異
経常収入			
介護保険収入			0
自立支援費等収入	86,501,000	86,492,299	8,701
利用料収入			0
措置費収入			0
運営費収入			0
私的契約利用料収入			0
補助事業等収入	4,019,609	4,019,901	-292
経常経費補助金収入	12,025,080	12,025,080	0
寄附金収入	698,000	696,740	1,260
雑収入	3,116,000	3,147,723	-31,723
借入金利息補助金収入	1,023,000	1,023,000	0
受取利息配当金収入	282,300	282,379	-79
会計単位間繰入金収入			0
経理区分間繰入金収入	242,000	259,000	-17,000
経常収入計(1)	107,906,989	107,946,122	-39,133
経常支出			
人件費支出	70,324,855	70,327,919	-3,064
事務費支出	16,282,157	16,352,463	-70,306
事業費支出	9,235,735	9,441,798	-186,063
借入金利息支出	1,023,000	1,023,000	0
経理区分間繰入金支出	242,000	259,000	-17,000
経常支出計(2)	97,127,747	97,404,180	276,433
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	10,779,242	10,541,942	237,300
施設整備等補助金収入	3,060,000	3,060,000	0
施設整備等寄附金収入			0
固定資産売却収入			0
施設整備等収入計(4)	3,060,000	3,060,000	0
固定資産取得支出	4,506,752	4,506,752	0
元入金支出			0
施設整備等支出計(5)	4,506,752	4,506,752	0
施設整備投資資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,446,752	-1,446,752	0
借入金収入			0
投資有価証券売却収入			0
借入金元金償還補助金収入	4,125,000	4,125,000	0
積立預金取崩収入			0
その他の収入			0
財務収入計(7)	4,125,000	4,125,000	0
借入金元金償還金支出	5,500,000	5,500,000	0
投資有価証券取得支出			0
積立預金積立支出			0
その他の支出			0
流動資産評価減等による資金減少額等			0
財務支出計(8)	5,500,000	5,500,000	0
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,375,000	-1,375,000	0
予備費(10)			0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,957,490	7,720,190	237,300
前期末支払資金残高(12)	115,151,677	115,151,677	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	123,109,167	122,871,867	237,300

事業活動収支計算書

(自)平成22年 4月 1日 (至)平成23年 3月31日

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
事業収入			
介護保険収入			0
自立支援費等収入	86,492,299	83,947,181	2,545,118
利用料収入			0
措置費収入			0
運営費収入			0
私的契約利用料収入			0
補助事業等収入	4,019,901	3,866,262	153,639
経常経費補助金収入	12,025,080	13,162,646	-1,137,566
寄附金収入	696,740	2,693,230	-1,996,490
雑収入	3,147,723	3,344,272	-196,549
借入金元金償還補助金収入	4,125,000	4,125,000	0
引当金戻入			0
国庫補助金等特別積立金取崩額	6,603,323	6,423,483	179,840
事業活動収入計(1)	117,110,066	117,562,074	-452,008
人件費支出	70,327,919	71,167,348	-839,429
事務費支出	15,275,363	15,883,771	-608,408
事業費支出	9,441,798	9,817,550	-375,752
減価償却費	9,401,122	8,946,238	454,884
徴収不能額			0
引当金繰入	1,077,100	1,074,750	2,350
事業活動支出計(2)	105,523,302	105,989,657	-466,355
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	11,586,764	11,572,417	14,347
借入金利息補助金収入	1,023,000	1,193,500	-170,500
受取利息配当金収入	282,379	410,915	-128,536
会計単位間繰入金収入			0
経理区分間繰入金収入	259,000	602,000	-343,000
投資有価証券売却益(売却収入)			0
有価証券売却益(売却収入)			0
事業活動外収入計(4)	1,564,379	2,206,415	-642,036
借入金利息支出	1,023,000	1,193,500	-170,500
経理区分間繰入金支出	259,000	602,000	-343,000
投資有価証券売却損(売却原価)			0
有価証券売却損(売却原価)			0
資産評価損			0
事業活動外支出計(5)	1,282,000	1,795,500	-513,500
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	282,379	410,915	-128,536
経常収支差額(7)=(3)+(6)	11,869,143	11,983,352	-114,209
施設整備等補助金収入	3,060,000	5,000,000	-1,940,000
施設整備等寄附金収入			0
固定資産売却益(売却収入)		125,000	-125,000
国庫補助金等特別積立金取崩額			0
特別収入計(8)	3,060,000	5,125,000	-2,065,000
基本金組入額	87,312	417,355	-330,043
固定資産売却損・処分損(売却原価)	3,060,000	5,000,000	-1,940,000
国庫補助金等特別積立金積立額			0
特別支出計(9)	3,147,312	5,417,355	-2,270,043
特別収支差額(10)=(8)-(9)	-87,312	-292,355	205,043
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	11,781,831	11,690,977	90,854
前期繰越活動収支差額(12)	146,683,787	142,992,810	3,690,977
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	158,465,618	146,683,787	11,781,831
基本金取崩額(14)			0
基本金組入額(15)			0
その他の積立金取崩額(16)		8,000,000	-8,000,000
その他の積立金積立額(17)			0
次期繰越活動収支差額(18)=(13)-(14)-(15)-(16)-(17)	158,465,618	146,683,787	11,781,831

貸借対照表

平成23年 3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	127,203,146	119,464,205	7,738,941	流動負債	4,331,279	4,312,528	18,751
現金預金	110,047,565	97,084,202	12,963,363	短期運営資金借入金	1,100,000	1,300,000	-200,000
有価証券	0	0	0	未払金	2,678,683	2,496,003	182,680
未収金	15,071,140	20,174,096	-5,102,956	預り金	552,596	516,525	36,071
貯蔵品	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	152,494	0	152,494	仮受金	0	0	0
前払金	794,062	890,547	-96,485	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	1,100,000	1,300,000	-200,000				
仮払金	37,885	15,360	22,525				
その他の流動資産	0	0	0				
固定資産	264,973,676	268,961,258	-3,987,582	固定負債	35,045,400	39,551,300	-4,505,900
基本財産	189,458,549	195,584,434	-6,125,885	設備資金借入金	27,500,000	33,000,000	-5,500,000
建物	105,779,177	111,905,062	-6,125,885	長期運営資金借入金	0	0	0
土地	83,679,372	83,679,372	0	退職給付引当金	7,545,400	6,551,300	994,100
基本財産特定預金	0	0	0				
その他の固定資産	79,515,127	73,376,824	6,138,303	負債の部合計	39,376,679	43,863,828	-4,487,149
建物	1,341,331	1,547,407	-206,076	純 資 産 の 部			
構築物	3,541,194	3,888,966	-347,772	基本金	41,510,583	41,510,583	0
機械及び装置	0	0	0	基本金	41,510,583	41,510,583	0
車両運搬具	10,143,138	8,594,532	1,548,606	国庫補助金等特別積立金	110,712,571	114,256,894	-3,544,323
器具及び備品	1,648,680	1,813,444	-164,764	その他の積立金	42,111,371	42,111,371	0
土地	0	0	0	人件費積立金	8,000,000	8,000,000	0
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	12,000,000	12,000,000	0
電話加入権・水道施設利用権	588,433	599,804	-11,371	車両運搬具積立金	4,000,000	4,000,000	0
投資有価証券	8,000,000	8,000,000	0	移行時特別積立金	18,111,371	18,111,371	0
長期貸付金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	158,465,618	146,683,787	11,781,831
公益事業会計元入金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	158,465,618	146,683,787	11,781,831
収益事業会計元入金	0	0	0	(うち当期活動収支差額)	11,781,831	11,690,977	90,854
人件費積立預金	8,000,000	8,000,000	0				
修繕費積立預金	12,000,000	12,000,000	0				
車両運搬具積立預金	4,000,000	4,000,000	0				
移行時特別積立預金	18,111,371	18,111,371	0				
その他の固定資産	7,840,980	6,821,300	1,019,680				
資産の部合計	392,176,822	388,425,463	3,751,359	純資産の部合計	352,800,143	344,561,635	8,238,508
				負債及び純資産の部合計	392,176,822	388,425,463	3,751,359